

取組事例

町の産業を担う次世代へ安定した雇用を創出する新規就業者・担い手支援及び若者人材の育成と定着の取り組み (別海町)

別海町では、町の主要な産業である酪農業、水産業や商工業の担い手を確保・育成するため、多様な取り組みを図りながら、着実な経営の支援を行っているほか、地域で活躍する人材を継続的に地域で育成するため、町の最高学府である別海高校への通学者増加を図り、町外への転出の初期段階を防ぎ、将来の人口流出に歯止めをかけるとともに、若者が働ける環境整備を行う。

関連数値目標・KPI

	基準値 (H26)	実績 (H29)	目標値 (H31)	進捗率 (%)
新規就業者数 (別海町)	2人	11人	15人	73.3%

取組の推進体制

役場、教育委員会等で構成する「別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」と、住民代表者等で構成する「検討推進委員会」を立ち上げ、適切な役割分担の下、官民の連携により取組を効果的に推進。

取組事例

別海町の地域創生を実現するテレワーク・移住定住促進事業



協議会の4つの取組

① 滞在型テレワーク・移住体験プログラム

テレワーカーや移住希望者に対して、移住体験プログラム(お試し暮らし)提供、就職先の紹介、就労先との調整などの支援を行っています。

滞在型テレワークでの体験プログラム風景

マイクロソフト社 地方創生イベントでのテレビ会議風景

② 人材育成事業 (高校生・主婦等のICT活用セミナー等)

町内の高校生や主婦等を対象に、「Webサイト制作ワークショップ」、「ライター養成講座」、「動画撮影ワークショップ」等の就業や起業についての研修会を開催しています。町民の情報発信スキルの上昇や、「新しい働き方」について発信しています。

初心者のための写真撮影ワークショップ

③ サテライトオフィス誘致等プロモーション

地方創生まちづくりフォーラム「まちをみ」出張風景

別海町プロモーションビデオや地域FMのプロモーション番組、都市部へのインターネット配信などで、別海町の魅力を発信しています。また、首都圏のイベントに出席し、都市部企業や移住希望者に対して町をPRするほか、企業機能の一部移転やテレワーカーの誘致等を促し、就労機会や移住者の増加に向けて取り組んでいます。

④ テレワーカー・移住希望者向けWebサイト整備

移住者にインタビューを実施して協議会のホームページに掲載し、移住に役立つ情報を発信しています。また、協議会の活動等をFacebookを通じて町内外にPRしています。

ホームページ

★ほらりとは

「ほらり」はアイヌ語で「住む」を意味します。「道東(北海道東部)に住んでほしい」という気持ちと、かな表記にすることで、北海道と本土との融和の気持ちが込められています。



ほらり
ほらり協議会ホームページ
<http://horari.jp/>



新規就農者対策事業

○主な取組

- 新規就農する方、規模拡大のために移転をする方への助成(青年就農給付金、住宅等改修費用への助成、牛の導入費用への助成)など

○主な成果

- 新規就農者数の目標値進捗率は73.3%と概ね順調に進捗している。新規就農者定着率も80%と今後も増加が見込まれる。



北海道別海高等学校教育支援事業

○主な取組

- 通学交通費免除(バス通学者に対する助成)
- 通信衛星授業補助(eラーニング実施費用に関する補助)
- 寄宿施設等利用費助成事業(寄宿舎利用に対する保護者への補助)
- 外部指導者派遣事業(外部コーチ等の派遣補助)

○主な成果

- 通学交通費免除によって、普通科クラス数が2クラスから3クラスに増加(平成28年度)